

令和 7 年度第 3 回契約監視委員会議事概要

1. 日 時 令和 7 年 12 月 23 日（火） 13:30～15:50
2. 場 所 経済産業省別館 10 階 産総研東京本部大会議室（ハイブリッド開催）
3. 出席者 川崎委員長、山口委員、茂垣委員、大橋委員、米山委員
4. 議 題
 - （1）随意契約の妥当性についての点検
 - （2）特例随意契約の競争性の確保に関する点検
 - （3）特例随意契約の実施に係る確認
 - ① 特例随意契約の実施に係るガバナンス強化の措置及び適用条件への対応状況
 - ② 特例随意契約に係るガバナンス強化等の措置及び適用条件の履行・遵守状況に対する内部監査の結果報告について
 - （4）令和 8 年度特例随意契約の実施について
 - （5）一般競争入札等の競争性の確保に関する点検

5. 議事概要

（1）随意契約の妥当性についての点検

資料 3「競争性のない随意契約 一覧及び個票」に基づき、抽出 17 案件に対する点検を行った。事前に委員より質問をいただいた案件については、資料 8 により説明を行った。

なお、委員から以下のとおり意見（要旨）があった。

○No.7「Microsoft 365 Copilot ライセンス」について、既存のソフトウェアライセンスと同等のサポートが受けられることを契約相手の選定理由にしているが、互換性の事由には該当しないのではないか。

○No.8「産総研ロジック集積回路設計検証システム用シリアルバスおよびメモリモデルライセンス」について、非公開の設計情報との互換性を理由にしている。特定の研究機器又はソフトウェア以外のものであっても互換性を理由にできるのか、ご検討いただきたい。

（2）特例随意契約の競争性の確保に関する点検

資料 4「一者応募となった特例随意契約 一覧及び個票」に基づき、抽出 9 案件に対する点検を行った。事前に委員より質問をいただいた案件については、資料 8 により説明を行った。

なお、委員から以下のとおり意見（要旨）があった。

○No.3「時間確定性を高める計算機クラスタ資源管理の方式設計にかかる技術相談の対応」について、技術相談に違和感がある。実態として、文献調査から試作まで行うものであるのなら、そのように仕様を決めて業務委託契約をした方が良いのではないか。是非再考していただきたい。

○No.7「研究支援者派遣（つくば6群25派034）」について、一者応募の派遣全般に言えることであるが、研究の特殊性から、同じ要求仕様で競争をすると、毎回同じ一者にならないか。競争性確保の観点から、機器と同様に、研究に必要最低限の仕様・技能であることが重要であることを現場の研究者に認識させるようにしていただきたい。

（３）特例随意契約の実施に係る確認

事務局より資料5-1「特例随意契約の実施に係るガバナンス強化の措置及び適用条件への対応状況」について、監査室より資料5-2「特例随意契約に係るガバナンス強化等の措置及び適用条件の履行・遵守状況に対する内部監査の結果報告」について報告を行った。

なお、委員からは、特段の意見はなかった。

（４）令和8年度特例随意契約の実施について

事務局から、資料6「令和8年度特例随意契約の実施について」に基づき、引き続き特例随意契約を実施することについて承認をいただきたい旨の説明を行い、承認された。

（５）一般競争入札等の競争性の確保に関する点検

資料7「一者応札・応募となった一般競争入札 一覧及び個票」に基づき、抽出11案件に対する点検を行った。事前に委員より質問をいただいた案件については、資料8により説明を行った。

なお、委員からは質問があったものの、特段の意見はなかった。

以上